

令和 6 年 6 月 21 日現在

機関番号：37104

研究種目：若手研究

研究期間：2020～2023

課題番号：20K13291

研究課題名（和文）現代ジャマイカ都市部の葬送の変化に関する人類学的研究

研究課題名（英文）Anthropological Study on Changes in Funeral Practices in Contemporary Urban Jamaica

研究代表者

神本 秀爾（Kamimoto, Shuji）

久留米大学・文学部・教授

研究者番号：30732622

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,600,000 円

研究成果の概要（和文）：本研究の目的は、葬儀業者のかかわる葬儀が一般的になっているジャマイカ都市部（首都キングストンおよびスパニッシュ・タウン）において、どのように死者が悼まれているのか明らかにすることであった。本研究は文献研究と現地調査で得られた資料の分析をおこなった。文献研究では、ジャマイカを含むアフリカ系ディアスポラの葬送の歴史や現状に関するものを中心的に読み込んだ。2022年度と2023年度に実施した現地調査では葬儀業者の実態や流行の墓の形態などに関する資料を主に収集した。これまでに公開できている研究成果では、SNSに代表される視覚重視の傾向が近年の葬送の変容に大きな影響を与えていることを示唆した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

大西洋奴隷貿易の「被害者」であった奴隷およびその子孫の葬送について、カリブ海地域では考古学的研究を含めほとんど記録の蓄積が進んでいなかった。本研究の社会的意義は同時代的な状況を資料として整理し日本語だけでなく英語でも発表した点にある。本研究の学術的意義は、ジャマイカ黒人の人種的アイデンティティ（黒人性）に関する文化人類学的・社会学的議論に葬送の事例を通じての貢献をおこなうことができた点にある。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this study was to clarify how the dead are mourned in Jamaica's capital Kingston and Spanish Town, where funerals involving funeral directors are common. This study analyzed materials obtained through literature research and field surveys. In the literature research, I focused on reading about the history and current state of funerals in the African diaspora, including Jamaica. During the field survey conducted in 2022 and 2023, I mainly collected data on the actual state of funeral service providers and the popular forms of graves. The research results that have been published so far suggest that the tendency to emphasize visual perception, as represented by SNS, has had a major impact on the transformation of funerals in recent years.

研究分野：文化人類学

キーワード：葬送 アフリカ系ディアスポラ 視覚表現

1 . 研究開始当初の背景

ジャマイカで暮らす人びとの9割以上は西・中央アフリカにルーツを持つ奴隷の子孫である。Herskovits[1941]がアメリカスにおけるアフリカ的要素の「残存」に注目したように、ジャマイカの葬送に関する文化人類学的研究では、アフリカ的要素とされた9日間続く通夜(Nine Night)や死霊の存在について報告されている[Simpson 1957 等]。その一方で近年の研究の関心は、アフリカ系の庶民(多数派である労働者階級)のあいだでの葬儀の奢侈化に移っている[Paul 2007, Hope 2010 等]。ジャマイカ黒人のポピュラー文化研究を専門とする Hope は、この傾向は1980年代以降のジャマイカの流行を生み出してきている音楽であるダンスホール(Dancehall)が表象している、個人主義的、物質主義的な志向と連動していると指摘し、参加者は華美な葬儀を通じて社会における自分の位置を高く見せようとしていると論じている[Hope 2010]。この傾向に関して、応募者は新聞資料や文献、2019年9月の現地調査で得られた資料から、葬儀業者数の近年の増加による業者間の競争の激化も、その現れであることを指摘した[神本 2020]。

しかし、先行研究では、主に都市部を拠点とする葬儀業者の歴史をはじめ、病院や教会などの関連するエージェントとの関係、関連法案との関係といった基本的な事柄についてもほとんど論じられていない。「ある社会のなかで死の習俗と他の観念体系や社会制度とのあいだには緊密な関係がある」[メトカーフ&ハンチントン 1996:287]との指摘を踏まえるならば、ジャマイカにおける死亡から埋葬、死者の追悼や慰霊といった一連の葬送実践について、基礎的なデータの収集も求められている。

2 . 研究の目的

本研究の目的は、葬儀業者のかかわる葬儀が一般的になっているジャマイカ都市部において、どのように死者が悼まれているのか明らかにすることである。冒頭の問いを解決するため、計画立案時は主に「ジャマイカの葬儀産業の実態」「葬送の一般的な傾向と多様性」「死者と生者の関係の実状」の3項目を分析対象としていた。

3 . 研究の方法

文献研究と現地調査による資料収集で得られたデータの分析をおこなった。文献研究では、都市計画や葬送に関連する法、消費性向を含む都市部住民のライフスタイルに関する文献、近隣の旧英領カリブ海世界の葬送に関する文献も読み込むことで、ジャマイカの葬送の特徴を明らかにした。新型コロナウイルス感染症流行のため、研究を開始した2020年度と2021年度は現地調査を実施することはできなかったが、2022年度と2023年度には実施することができた。現地調査では首都キングストンおよびスパニッシュタウンを主な調査地として、病院や葬儀業者、墓地などを訪れデータを収集した。

4 . 研究成果

本研究の成果は以下の通りである。2020年度は現地調査を実施できなかったため、国内で入手可能な文献のうち旧英領カリブ海地域における葬送に関する考古学・文化人類学に関する文献を中心に読み込み、現代ジャマイカにおける葬送を理解するための基盤を構築することができた。2021年度も現地調査の実施がかなわなかったが、2020年度に得た視座をもとに2019年度に実施していた予備調査データを分析することで「墓の形態の変化」に着目した論文「ジャマイカのデザイナー墓の特徴」を執筆した。また、2023年度に出版された『世界の冠婚葬祭事典』

のうち「ジャマイカ」だけでなく、アメリカの「プロテスタント系白人」「アフリカ系」についての執筆もおこなったことでより広い視点から現代ジャマイカの葬送をとらえる視点を獲得することができた。2022 年度は短期だが「ジャマイカの葬儀産業の実態」「葬送の一般的な傾向と多様性」「死者と生者の関係の実状」についての現地調査を実施することができた。2023 年度は「墓の形態」に関するデータのさらなる収集を進めると同時に、貧困層が多く暮らす通称ゲットーにおける「死者の壁画」に関するデータの収集をおこないその成果をエッセイとして寄稿した。2023 年度には 2021 年度に執筆していた日本語論文の英訳をおこないオープンアクセスで公開し、新たな日本語論文「劣化にあまり抗わない - ジャマイカ、メイペン墓地のデザイナー墓と死者の記憶」を執筆した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 0件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 神本秀爾	4. 巻 93
2. 論文標題 劣化にあまり抗わないージャマイカ、メイペン墓地のデザイナー墓と死者の記憶	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 黒人研究	6. 最初と最後の頁 52,56
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 神本秀爾	4. 巻 40
2. 論文標題 Notes on Mortuary Rituals in Modern Unban Jamaica (complete translation)	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 久留米大学文学部紀要 国際文化学科編	6. 最初と最後の頁 70,74
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 神本秀爾	4. 巻 91
2. 論文標題 ジャマイカのデザイナー墓の特徴	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 黒人研究	6. 最初と最後の頁 126 129
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計1件

1. 著者名 神本秀爾（川田牧人・松田素二編）	4. 発行年 2023年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 454
3. 書名 世界の冠婚葬祭事典	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------